

北方領土に関する岸田総理大臣への要請について

令和5年6月13日、鈴木知事は、公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟の松本理事長及び北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の石垣会長などとともに、岸田総理大臣に対し、北方領土に関する要請を行いました。

1 道と千島連盟の要請の概要

1. 四島交流等事業の早期再開

北方墓参をはじめとする四島交流等事業の一日も早い再開に向け、日露政府間での協議が進展するよう取り組むこと。

なお、四島交流等事業の実施の見通しが立たない間は、「洋上慰霊」など別途の事業が円滑に実施できるよう支援すること。

2. 北方領土に関する日本の立場の国内外へのアピール

北方領土に関する歴史的事実や我が国への帰属の正当性について、国内はもとより、国際社会に改めて強くアピールすること。



鈴木知事、松本理事長から総理へ要請



石垣会長から総理へ要請

2 岸田総理大臣の回答

- ・北方領土問題を解決して平和条約を締結するという政府の基本方針に変更はない。
- ・北方墓参をはじめとする北方四島交流等事業の再開は今後の日露関係の中でも最優先事項であり、特に北方墓参に重点をおいて、ロシア側に対して事業の再開を求めていく。
- ・要請のあった様々な事業については、必要な支援を政府として行っていく。
- ・北方領土問題は国民一人一人が理解をより深め、政府と国民が一丸となって取り組む姿勢が不可欠と考えている。
- ・国際社会において、我が国の立場が正しく理解されることも重要であり、引き続き努力をしていきたい。

（総理大臣への要請）

日時：令和5年6月13日（火）午前

場所：総理大臣官邸3階 南会議室

政府出席者：内閣総理大臣 岸田 文雄、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策） 岡田 直樹、外務大臣 林 芳正、
外務省欧州局長 中込 正志、内閣府審議官 伊藤 信

要請者：北海道知事 鈴木 直道

（公社）千島歯舞諸島居住者連盟理事長 松本 侑三、同連盟副理事長 野淵 龍彦、同連盟副理事長 鈴木 日出男
北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会 会長 石垣 雅敏（根室市長）、同協議会 西村 稔（中標津町長）、
同協議会 山口 将悟（標津町長）、同協議会 湊屋 稔（羅臼町長）
（臨席）衆議院議員 鈴木 貴子、参議院議員 鈴木 宗男